

業 種	トラック
取組分野	若年ドライバーの教育・研修
テ ー マ	専属の指導員が新卒者を教育する教育カリキュラムにより人材育成と安全性を向上させる取組
取組の狙い	新卒者を採用し、専属の指導員が指導・教育することでドライバーとしてだけでなく、一人前の社会人に育てる。
具体的内容	<p>1. 背景（課題）</p> <p>トーエイ物流株式会社は、埼玉県久喜市を中心として物流業務を展開している企業で、ドライバーは約170名、平均年齢は約44歳である。</p> <p>地元においては、高校卒業生の就職先として受け皿となっている会社であるが、近年、以下のような問題を抱えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人手不足の影響でドライバー職の応募が減っている。 ② ドライバーの平均年齢が上がってきている。 <p>2. 取組概要（解決策）</p> <p>上記問題の解決策として、当社では高卒ドライバーを毎年採用しているが、トラックはもとより、車の運転自体が初心者なため、当社独自の教育カリキュラムを作成してドライバー教育を行っている。高卒ドライバーを育成するための教育カリキュラムの流れは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 入社時の1週間で、本社の入社時研修、外部の新入社員研修、事業所見学。 ② 1か月間、物流センター研修を行い、先輩社員とのコミュニケーションを図り、物流の基礎を学ぶ。 ③ フォークリフト免許、玉掛け免許の取得。 ④ 2トン車、軽貨物車両でドライバー経験を積む。専属の指導員からマンツーマンで運転技術、危険回避運転、荷物の積み下ろし、接客マナー等について指導を受ける。 ⑤ 埼玉県トラック総合教育センターでの新人乗務員研修の受講。 ⑥ フォローアップ研修のくりかえし実施。 ⑦ 荷役運搬講習会（社内行事）への参加。 ⑧ 10ヶ月間の研修後に事業部署に配属。 ⑨ 3t車、3t平車への車種変更によりシート掛け等の技術取得。 ⑩ 入社後2年経過後、中型免許の取得。指導員による指導の後、4トン車に車種変更。 ⑪ 運行管理者の取得、社内研修等をして、将来的には所長も展望できる人材の育成を目指す。



運転技術研修の様子



荷物の扱い方の研修

取組の効果

以上の取組みで、毎年2～3名の高卒新入社員がドライバー教育を受け、業務についている。当社の新入社員教育の取組みは、テレビ番組でも取り上げられ、人材不足の物流業界にとっての1つの解決策として大きな反響があった。

なお、豊富な経験を持つ元所長やベテランドライバーを指導員とすることで、新人ドライバーの教育だけでなく、既存ドライバーの再教育も行っている。全ドライバーに対して順番に指導を受けさせることで、運転技術の向上と安全運行につなげている。

また、若手ドライバーをプロドライバーにするだけでなく、一流の社会人として育成するという考えで教育に力を注いでいるため、社会人として身に付けるべきマナーについても厳しく指導している。この結果、ドライバーの安全意識が高まり、運転技術も向上している。



専任指導員と新入社員

さらに、当社では、久喜市PRのためのラッピング車両の導入や、地域の少年野球大会のスポンサーをするなど地域活性化のために社会貢献活動を行った結果、2017年12月には、経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定された。

今後は、指導員の育成も大きな課題であるため、指導員の増員及び育成

	を検討している。 社員教育に力をいれ、社員全体の質の向上に努めていきたい。
事業者名	トーエイ物流株式会社 (連絡先：0480-85-5300)